

會議錄

会議の名称		平成29年度第5回川越市環境審議会	
開催日時		平成30年1月29日(月) 午前10時00分 開会 ・ 午前11時00分 閉会	
開催場所		市庁舎7階7AB会議室	
議長(会長) 氏名		福岡義隆	
出席者(委員) 氏名(人数) ◎会長 ○副会長		【1号委員】・海沼秀幸 ・樋口直喜 ・池浜あけみ ・三浦邦彦 ・桐野忠 ・川口啓介 ・小野澤康弘 ・笠原啓一 ・黒田泰江 ・小瀬博之 ○濱口恵子 ◎福岡義隆 【2号委員】・菊地三生 ・増野秀夫 ・村上直 【3号委員】・伊藤幾造 ・鎌田政稔 ・鈴木崇弘 ・船津和信 ・宮崎千鶴 【4号委員】 (20名)	
欠席者(委員) 氏名(人数)		【1号委員】 【2号委員】 【3号委員】・賀登環 ・藤田龍一 【4号委員】・葛西聡 (3名)	
事務局職員 氏名(職名)		環 境 部 長：大野隆 環境部副部長：福田忠博(環境施設課長) 課 長：富田稔(環境政策課)、山崎茂(環境対策課) 高橋宗人(産業廃棄物指導課)、飯野英一(資源循環推進課) 矢島英也(収集管理課) 環 境 政 策 課：武藤貴子(副課長)、有馬宗弘(副主幹)、橋本光司(副主幹) 伊藤雅浩(主任)、山本陽二(主事)	
傍聴人(人数)		なし	
会議次第	1 開会 2 前回会議の概要等 3 議題 (1)(仮称)「第三次川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」について 4 その他 5 閉会		
配布資料		・次第(裏面:第12期川越市環境審議会委員名簿) ・会議録(案) ○資料1 (仮称)第三次川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について(答申)(案) ○資料2 審議経過及び今後の予定等	

議事の経過	
発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
司会	これより平成29年度第5回川越市環境審議会を始めさせていただきます。 本日は、23名の委員さんのうち、20名の委員さんに御出席いただいております。川越市環境審議会規則第3条第2項に基づき、出席者が過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをここに御報告申し上げます。 それでは、はじめに、会長より、ひとこと御挨拶をお願いいたします。
会長	【挨拶】
司会	続いて、資料の確認をさせていただきます。 【資料確認】
事務局	それでは、川越市環境審議会規則第2条第2項の規定に基づき、会長に議長になっていただき議事を進めていただきたいと思います。と存じます。
会長	ただいまから議長を務めさせていただきます。皆様の御協力をお願いします。 それでは、次第の「2 前回会議の概要等」について事務局よりお願いします。
事務局	【説明】
委員	原案 103 ページのコミュニティサイクルの利用促進事業の行動指標である自転車シェアリング利用回数について、現状値と目標値が同じ値になっています。利用促進であるにもかかわらず、目標値が現状維持とされていることに違和感があります。利用促進ということであれば、目標は現状より増やしていく方が望ましいと思います。
事務局	関係課と検討をさせていただきます。
会長	それでは、次第の「3 議題」に移りたいと思います。 議題『(1) (仮称)第三次川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について』でございます。 事務局より説明をお願いします。
事務局	【説明】
委員	答申案の中に、「市民に分かりやすい表現とする」という内容がありますが、これに関連して、第二次計画の年次報告書の最後に掲載されている市民からの意見の中に、「報告書をもう少し市民に分かりやすい構成にしてほしい」という内容のも

	のがあったと思います。行政報告書として仕方ないことなのか、工夫すればもっと分かりやすくできるのか、どのようにお考えでしょうか。 市民に分かりやすく説明することで、有用な意見を引き出すことができ、環境行政にも生かせるのではないかと思います。
事務局	年次報告書発行の際、市民の皆様から意見を募集していますが、なかなか多くの御意見はいただけない状況です。第三次計画の年次報告については、市民の皆様は、より気軽にご覧いただけるように検討したいと思います。
委員	パブリックコメントは面倒なので意見を出さず、他の場で意見を出すという方もあると思います。あまり市の負担や費用をかけずに、できるだけ多くの市民の意見を集められるよう、WEBやスマートフォンの活用、環境まつりなどのイベント時の取組などができれば良いのではないかと思います。 また、つばさ館があることは本市のアドバンテージだと思います。年間利用者も5万人以上と増えてきているようですので、広報活動など情報発信の場として活用していただければと思います。
会長	私自身も、急に計画書を見せられても分かりにくいと感じるところもあります。一般市民にとっても同様だと思いますので、考慮していただきたいと思います。
委員	計画を実施していくための財源は確保できているのでしょうか。市議会でも予算を取れるように後押ししてもらいたいと思います。25年くらい前の話ですが、カナダでは日本の8倍くらい環境にお金を掛けていると聞いたことがあります。財源を確保しないと計画を実行していくのも難しいのではないかと思いますので、よろしくお願いします。
事務局	ご意見のとおり、事業を実施していく上で財源が必要となってきます。市独自の財源の他、国や県の事業等が活用できる場合もありますので、庁内で情報の共有を十分図りながら財源を確保したいと考えています。 先ほど、カナダの話が出ましたが、自治体の予算だけでなく、国からの予算等も含めての話ではないかと思います。限られた財源の中で環境分野の予算を確保するためには、他の分野が削られることになりますので、目先のことでなく、5年後、10年後を見据えて、必要な将来への投資として、市民生活に支障がない形で、議員の方々からのお力も得ながら環境部局として努めていきたいと考えております。
会長	私もアメリカ・カナダを視察したことがありますが、カナダはよい姿勢を持っていると思います。
委員	答申の文言や表記について、何箇所か修正した方がよいと思われる点がありま

	すので、精査をお願いします。 また、第二次計画を前倒しにして新たな計画を策定するにあたって、基準年度や目標値の変更の理由を分かりやすいように示していただきたいと思います。市民にも分かりやすいように数値などで示していただけるとよいと思います。
事務局	文言や表記等については、より適切で分かりやすいものとなるよう検討します。 ごみに関しては、一年に一度、詳細な数値等の公表を行っているほか、別途、より分かりやすい表現での公表もしております。その他の環境分野の取組についても、具体的な数値の公表だけでなく、より分かりやすい形でのPRに努め、興味を持った方には更に詳しい内容が見られるようにしていきたいと考えております。 また、先ほど、別の委員さんから「つばさ館」の積極的活用に関する御意見がありました。現在、「つばさ館まつり」として、ごみや資源に重点をおいたイベントを行なっているところですが、将来的には、これを「環境まつり」に発展させ、ごみや資源だけでなく、自然環境、地球温暖化やそれらの連携も含めて、環境全体を考える場にしたいというようなことも考えており、その中で、温暖化の情報も積極的に発信していきたいと考えております。
会長	先ほど、つばさ館に関する話がありましたが、地域に根ざした公民館などで市民との接点を持つことも重要ではないかと思います。
委員	文章表現等に関する事項が冒頭に記載されているが、計画策定の背景・意義に関することを先に記載した方がよいのではないか。
事務局	検討します。
委員	近年、「地球温暖化」ではなく「気候変動」として捉える傾向がありますので、名称について検討していただきたいと思います。また、交通や建設など、環境部門だけでなく、あらゆる分野で施策が行えるように市の中で調整していただきたいと思います。 例えばお祭りの中で何かできることがないか、あるいは、福祉事業で何か取り組めないか、など、より実効性のあるものにしてほしいと思います。 また、計画の内容を1枚にまとめた資料があると使いやすいと思います。
会長	私も、地球温暖化より気候変動の方がよいのではないかと思います。今回は厳しいと思いますが、今後検討していただければと思います。
会長	続きまして、次第の「4 その他」ですが、事務局から何かございますか。
事務局	【事務連絡(今後の日程について)】

会長	それでは、これもちまして議長の任を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。
事務局	それでは、閉会のことばを副会長よりお願いいたします。
副会長	以上もちまして、本審議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。